

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かみひこうき昭和町		
○保護者評価実施期間	R6年 4月1日 ~ R7年 3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	R6年 4月1日 ~ R7年 3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士資格を有している職員が多く、未就学児の発達段階と特性を合わせて考慮した活動の提案をしていくことが強みと考えています。	発達段階と本人の特性や性格などを考慮しながら、本人の好きな物と関連させ、自ら「やりたい!」と前向きに活動に取り組めるようにしています。	保護者様や通園している保育園等と情報の共有を行いながら、本人のやりたいことや、頑張っている事などから、本人の強みを伸ばしながら、課題とされる部分を少しずつ伸ばしていけるように支援していきたいです。
2	活動スペースが広めとなっているため、鉄棒、マット、トランポリン、鬼ごっこなども室内で行えるため「動きたい」という思いにある程度答えることでできています。	安全に体を動かした遊びに取り組むことができるように、適正な職員のポジショニング、ルールなどをしっかりと守れるように行っています。	異年齢で行う際には体格の違いがあるため、年上に対しては小さい子への配慮の意識づけと接し方を予め伝えるなどして、異年齢でも楽しく一緒に取り組むことができ、お互いにとって良い経験の積み重ねになるようにしていきたいです。
3	自己肯定感の向上を意識した取り組みを意識しています。	様々な活動を行う機会があっても、自己肯定感が低く自信がない、興味関心をもちにくいなどがありますので、まずは活動に対して「楽しい」「できた!」という思いを持つことができるようにしています。その時々々の興味関心の物と関連させたり、スモールステップで少しずつの参加を促しながら、本人が楽しめる雰囲気づくりに努めています	職員一人一人の遊びの引き出しを増やしていく。日々の関わりの中で信頼関係構築に努めつつ、本人の好きなこと、苦手なことなどの情報を引き出すためのコミュニケーションをより意識していきます。また保護者様や関係機関との情報共有にも努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様に対してその日に行った活動を伝えるだけでなく、活動の意図や結果などをこちらから積極的に伝えていくことを強化していく必要があると感じました。	保護者様に活動に対しての意図や現状をその都度知ってもらうということが不足しているように感じました。	職員一人一人が、活動の意図をしっかりと認識し、言語化して保護者様に伝えていくことを意識していけるようにしていきます。
2	職員によって「児童発達支援」に対しての職務経験の差があるため、関りに差が生じる可能性があると感じています。	「児童発達支援」での経験が長い職員と経験がまだ少ない職員がいる中で、利用者と経験が長い職員とのコミュニケーションが多くなってしまうことがあるように感じます。	定期的に支援方法や関り方、遊び(活動)の引き出しを増やしていくための話し合いながら、職員全員が利用者と望ましいコミュニケーションを取っていけるようにしていきたいです。
3	職員一人が一人が異年齢での関りによる、経験の積み重ねの意図した活動を考えていく必要があると感じました。	集団活動などからの他者とのコミュニケーションだけでなく、異年齢での観点からの経験の積み重ねを考えていくことも大切だと感じました。	集団活動を行うなかで、異年齢で得られる経験を支援側が意識しながら支援を行っていけるようにしていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	かみひこうき昭和町
------	-----------

公表日 R7 年 5 月 9 日

利用児童数

2

回収数

2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1			1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				2		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1			1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1		1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かみひこうき昭和町		
○保護者評価実施期間	R6年 4月1日 ~ R7年 3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	R6年 4月1日 ~ R7年 3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士資格を有している職員や教員資格を持つ職員が在籍しており、子どもの発達段階と特性を合わせて考慮した活動の提案をしていくことが強みと考えています。	発達段階と本人の特性や性格などを考慮しながら、本人の好きな物と関連させ、自ら「やりたい!」と前向きに活動に取り組めるようにしています。	保護者様や学校等と情報の共有を行い、本人のやりたいことや、頑張っている事などから、本人の強みを伸ばしながら、課題とされる部分を少しずつ伸ばしていけるように支援していきたいです。
2	活動スペースが広めとなっているため、鉄棒、マット、トランポリン、鬼ごっこなども室内で行えるため「動きたい」という思いにある程度答えることでできています。	安全に体を動かした遊びに取り組むことができるように、適正な職員のポジショニング、ルールなどをしっかりと守れるように行っています。	異年齢で行う際には体格の違いがあるため、年上に対しては小さい子への配慮の意識づけと接し方を予め伝えるなどして、異年齢でも楽しく一緒に取り組むことができ、お互いにとって良い経験の積み重ねになるようにしていきたいです。
3	自己肯定感の向上を意識した取り組みを意識しています。	様々な活動を行う機会があっても、自己肯定感が低く自信がない、興味関心を持ちにくいなどがありますので、まずは活動に対して「楽しい」「できた!」という思いを持つことができるようにしています。その時々興味関心の物と関連させたり、スモールステップで少しずつの参加を促しながら、本人が楽しめる雰囲気づくりに努めています	職員一人一人の遊びの引き出しを増やしていく。日々の関わりの中で信頼関係構築に努めつつ、本人の好きなこと、苦手なことなどの情報を引き出すためのコミュニケーションをより意識していきます。また保護者様や関係機関との情報共有にも努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様に対してその日に行った活動を伝えるだけでなく、活動の意図や結果などをこちらから積極的に伝えていくことを強化していく必要があると感じました。	保護者様に活動に対しての意図や現状をその都度知ってもらうということが不足しているように感じました。	職員一人一人が、活動の意図をしっかりと認識し、言語化して保護者様に伝えていくことを意識していけるようにしていきます。
2	職員によって「放課後等デイサービス」に対する職務経験の差があるため、関りに差が生じる可能性があると感じています。	「放課後等デイサービス」での経験が長い職員と経験がまだ少ない職員がいる中で、利用者と経験が長い職員とのコミュニケーションが多くなってしまうことがあるように感じます。	定期的に支援方法や関り方、遊び(活動)の引き出しを増やしていくための話し合いながら、職員全員が利用者と望ましいコミュニケーションを取っていけるようにしていきたいです。
3	職員一人が一人が異年齢での関りによる、経験の積み重ねの意図した活動を考える必要があると感じました。	集団活動などからの他者とのコミュニケーションだけでなく、異年齢での観点からの経験の積み重ねを考えていくことも大切だと感じました。	集団活動を行うなかで、異年齢で得られる経験を支援側が意識しながら支援を行っていけるようにしていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 かみひこうき昭和町

公表日 R7年 5 月 9日

利用児童数

30

回収数

16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1			走ったりもできるだけの広いスペースがあり様々な活動を行うことができそうです。	広めのスペースを生かした様々な活動をご提案し、様々な体験・経験ができるように継続して取り組まさせていただきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		3	適切な人数の配置となっていますが、多ければ多いほど安定すると思います。	職員のポジショニングなども意識しながら安全に配慮した、支援を継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16				いつもきれいにしています。	子どもたちが、健康に過ごしていくことができるように清潔さを保てるようにしていきます。また、子ども自身が清潔さへの意識が持てるように支援していきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1			子どもの遊びの幅が増えてうれしく思っています。	継続して、発達や年齢に合わせた遊びや、個々の興味関心のあるものと関連させた活動をご提供できるように努めていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	2	4		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1		3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	1		4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。				1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16				安心して過ごしています。	一人一人が自分らしく安心して過ごしていくことができるように、「楽しい」と思える支援に努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16				楽しみに通っています。 外出イベントなどを特に楽しみにしており、様々な場所での体験を喜んでいきます。	地域の施設などを中心に様々な場所での体験・経験ができるように努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				大変満足しています。 学習面でも苦手な事に対して前向きに取り組めるように工夫してくださったことで、自信が付き苦手意識はあるものできるようになりました。	今後も保護者様との情報共有を密に行いながら、困りごとなどに対して様々な支援を考えご提供させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
かみひこうき昭和町		R7年 5 月 9 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		静養室など落ち着いて休めるスペースなどを活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		職員のポジショニングを意識しながら安全面に意識をしながら日々支援に取り組んでいる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		朝礼や終礼時にその日の利用者について共有を行っている。	職員一人一人が意識し、定期的に取り組んだ活動に対して経過等を報告できるようにしていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	相談支援専門員の方などが訪れた際に、ご意見をいただくようにしている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		年に数回、事業者内研修やオンライン等での研修に参加している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		月に1度イベント決めを職員全員で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日朝礼を行っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼でも振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		終礼時など、職員間で共有しながら療育記録をつけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		子ども課題に対してアプローチした取り組みを子どもに選択してもらう「チャレンジ」という活動を取り入れている。	取り組みに後ろ向きな子どもに対して、前向きに取り組める工夫を職員全体で考えることを強化していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	児童発達支援から利用している児童に対しては連携に努めている。	サポートファイル（つながるファイル）を活用していく。また、保護者様に推奨していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		今後、地域の子どもが参加できる企画を他事業所とも協力しながら取り組んでいきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		主に児童発達支援管理責任者が必ず参加するようにしている。	児童発達支援管理責任者以外の職員も参加していけるようにしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時の申し送り時に情報の共有を行うようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		年に1～2回保護者会を開催している。	参加者が限定的にならないように、日程など工夫していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			利用者のきょうだいなどが参加できるイベントなどを考えていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		伝えやすい、環境や雰囲気づくりを意識している。	言葉で意思などを伝えることが難しい子どもに対しての配慮を保護者様と望ましい方法を考え進めていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		イベントなど避難訓練を行い子どもたちと一緒に定期的に取り組んでいます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		同意書をいただき、個別支援計画に記載	